

## マテリアリティ(最重要課題)特定プロセス

### STEP 1 課題把握・整理

GRI(Global Reporting Initiative)のガイドラインを参照し、当社グループの事業戦略を通じて「SDGs」が掲げる17の目標達成にどのように貢献できるか、またそれぞれの事業に関わるリスクと機会について検討しました。

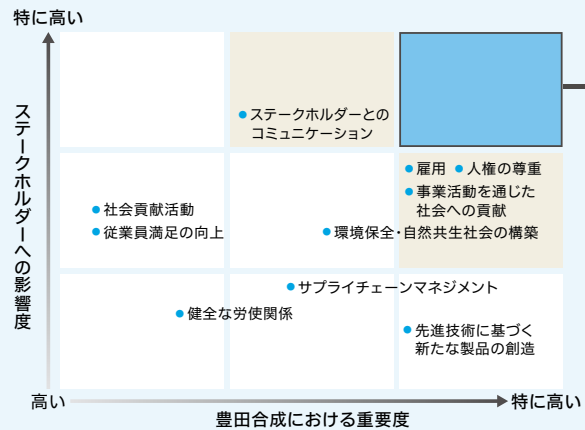
#### SDGsへの取り組み

豊田合成グループは、自らの事業活動を通じ、国際社会(全ての国連加盟国)が2030年までに目指す目標(SDGs: Sustainable Development Goals)達成に貢献していきます。



### STEP 2 社内外の視点から各要素の重要度を判定

STEP1で抽出した検討課題をマテリアリティマップ上に配置。有識者およびステークホルダーへのヒアリングなどを踏まえ、いずれも「特に高い領域」に位置する項目を最重要視すべき課題と判定。



### STEP 3 マテリアリティの特定

STEP2で抽出した最重要視すべき課題について、関係部門からなるプロジェクトチームでの検討を経て、9つの重点的な取り組みを決定しました。このマテリアリティは、ステークホルダーの皆様の関心、影響度が高いことはもちろん、当社グループにとっても重要なテーマとして位置づけています。

環境 (E)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 低炭素社会の構築                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO<sub>2</sub>排出量低減</li> <li>・温室効果ガス排出量低減</li> </ul> </li> <li>● 循環型社会の構築                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物低減</li> <li>・水使用量低減</li> </ul> </li> <li>● 環境マネジメント                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令遵守、マネジメントシステム構築</li> <li>・環境意識の醸成</li> </ul> </li> </ul>	
社会 (S)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人材                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル人材の育成</li> <li>・ワークライフバランスの推進</li> <li>・ダイバーシティの推進</li> </ul> </li> <li>● 労働安全衛生                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で働きやすい職場づくり</li> <li>・健康経営</li> </ul> </li> <li>● 製品の品質向上</li> <li>● 地域社会との共生</li> </ul>	
ガバナンス (G)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コーポレートガバナンス                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業統治と経営の透明性</li> </ul> </li> <li>● コンプライアンスの徹底                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業倫理と法令遵守</li> </ul> </li> </ul>	